

## ～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 先天性胆道拡張症に対する腹腔鏡下手術の安全性の評価』

研究機関名 東邦大学医療センター大橋病院

研究責任者 外科 職位・氏名 准教授 浅井 浩司

### 【研究の目的】

東邦大学医療センター大橋病院外科では、当科で施行した先天性胆道拡張症手術症例を検討し、腹腔鏡下手術の安全性の評価を目的に臨床経過のまとめを行います。

### 【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター(大橋病院)倫理委員会の承認を得て実施するものです。

対象者:2008年4月～2023年3月までに東邦大学医療センター大橋病院において、先天性胆道拡張症手術を行った方11例中、腹腔鏡手術を施行した6例を対象としています。

方法:診療録から抽出したデータを評価します。

### 【研究に用いられる試料・情報】

- ・患者因子:年齢、性別、併存疾患、胆管炎の既往、身長、体重、BMI、など
  - ・病変因子:総胆管拡張症型(Type)
  - ・周術期因子:出血量、手術時間、術中輸血量、胆道再建時間、術後合併症、術後在院期間、術死、など
  - ・術後長期予後因子:術後胆管狭窄の有無、胆管炎の発症、など
- \* 観察期間は術後3年とする

### 【研究組織】

代表施設名: 東邦大学医療センター大橋病院 外科

研究代表医師: 浅井 浩司 役職: 准教授

### 【個人情報について】

研究に利用する情報は、患者様のお名前、住所など、個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

研究対象者が死亡した場合、認知機能が低下した場合には家族が代諾者となり参加拒否を受け入れる体制もできています。

### 【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大橋病院 外科

職位・氏名 准教授 浅井 浩司

電話 03-3468-1251 内線 7176